

完成した！ 球磨 公育 共成 牧場

畜産経営規模拡大の隘路となっている優良子牛(乳用牛・肉用牛)を確保するため、球磨村一勝地の譲渡に「球磨公育成牧場」が四月完成した。

事業内容は、畜産農家の優良子牛を預かり、近代化施設が整った当牧場で育成し、資質を高めた牛を、再び農家に供給するという預託事業を主体にしている。

この牧場は、県畜産開発公社が運営管理することになっており、阿蘇郡の西原牧場に次いで県下では第三の牧場となっている。総面積三百八十六ヘクタール、総事業費十億四千万円。



▲預託牛は所定の手続きを経て入牧。体重、体高等の測定及び衛生検査を行い、畜舎等で馴らした後、広々とした草地に放牧する。預託料は乳牛で4月から11月までが1日1頭当たり350円。12月から翌春の3月までが500円となっている。なお肉用牛は各々20円安。